

Studio "F"

『Studio"F"』No.3の発行です。

8月末に実施したなかよし保育園の親楽の内容を報告します。また、6月に実施した松江市・安来市合同の親楽ファシリテーター養成講座、10月に松江市のみで実施した親楽ファシリテーター養成講座の内容を報告します。

TOPIC

- ・なかよし保育園親楽
- ・松江市・安来市合同
親楽ファシリテーター養成講座
- ・第2回松江市
親楽ファシリテーター養成講座

なかよし保育園で、親楽プログラムを実施しました

なかよし保育園 親楽 8月29日(火)

なかよし保育園での親楽は、既存のプログラムを職員研修用に一部変更し、実施しました。日頃の子どもたちへの接し方を改めて職員みんなで考えました。

15名参加(保育園職員)

吉廣 則子 ファシリテーター

〈プログラム名〉 2-④「心に響く伝え方」【シュミレーション】

〈内容〉

アイスブレイク：「動物なき声探し」でグルーピング、「紙タワー」

ワーク：「心に響く伝え方」保育士バージョン

ワーク1の場面を保育所で起きた出来事に変え、シュミレーションしました。ワーク2の内容を1つだけ実施しました。今回は全体共有の時間をしっかりと、各グループの気づきをみんなで確認しました。

《参加者の感想》

- ・子ども相手に感情的に起こるのではなく、子どもなりに理由があると思うので、「どうしたの？」と声をかけ、子どもに寄り添った言葉がけが大切だと思いました。
- ・子どもに「その言葉言われたらどう思う？」と言っている自分が、心無い言葉をかけているようでは、子どもにもこちらの思いが伝わらないと反省しました。(その他、たくさんの感想がありました)



動物か鳴き声探しでグルーピング



紙タワーははかなり頭を使いました



2人1組でシュミレーションをし、グループで意見交換しました



ホワイトボードに各グループからでた意見をまとめました。3つの言い方(感情的・いやみ・寄り添い)をされたときの子どもの受け止めについてみなさんで考え、吉廣さんにまとめをしてもらいました。

松江市・安来市合同 親楽ファシリテーター養成講座 6月25日(日)

今年の松江市・安来市合同の養成講座は、安来市の荒島交流センターで日曜日に実施しました。平日参加できない方向けに日曜日に計画し、参加者は松江市4名、安来市3名の計7名でした。

〈内容〉

○親楽体験：「子どもに伝えるのって難しい！」

安来市ファシリテーター 山根 久美子 さん

○講義・プログラム説明

○演習「カードワーク」「ランキング」「ラベルワーク」

○振り返り・まとめ



安来市親楽ファシリテーター
山根さん



ひもを使って2人1組の
グループ分けをしました



2列目が松江市参加の方で、左から
藤原さん、石川さん、山本さん、石倉です。
(生涯学習課)

第2回松江市親楽ファシリテーター養成講座 10月5日(木)

今年2回目の養成講座は、松江市単独で平日に実施し、会場は乃木公民館でした。当初申し込みは、7名あり、予定がつかなくなり1名欠席、当日都合により1名欠席となり、5名の参加となりました。参加者の方は、児童クラブの方2名、公民館の方1名、県関係の方1名、PTAの方1名でした。これで令和5年度は9名のファシリテーターが誕生しました。参加者のみなさんは、とても温かい雰囲気ファシリテートをされ、安心して見ることができました。

〈内容〉 ○親楽体験：「聞く耳ってどんな耳？」

松江市ファシリテーター 高橋 杏実奈 さん

○体験後は、松江市・安来市合同養成講座と同じ。



ファシリテーターの高橋さん



荒木さん



田村さん



植田さん



高校生3名が職場実習で公民館に来ていたので、親楽プログラム体験をしました。「聞く耳ってどんな耳？」は、高校生にとってもいい学びとなりました。その後、高校生は午後の2つのワークにも参加し、にぎやかな研修となりました。



玉木さん



壬生さん